

2025 年度 第 11 回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 選考報告

選考委員長 櫻井 一弥

1. 応募講演

7 講演 (1 講演辞退)

2. 選考経過

2-1 建築デザイン発表会

2025 年 6 月 21 日(土) 10:00～11:30

於：東北学院大学五橋キャンパス講義棟 6 階 L605 教室
(仙台市若林区清水小路 3-1)

応募 7 講演のポスター掲示、ならびに発表が行われた。応募時点では 8 講演あったが、E-02 発表者より都合がつかなくなった旨連絡があり、辞退として扱うこととした。限られた発表時間の中でそれぞれのコンセプトが紹介されるとともに、活発な質疑回答が行われた。発表会は滞りなく進められた。時間厳守にご協力いただいた発表者各位、聴講者各位に感謝申し上げたい。

2-2 選考委員会

2025 年 6 月 21 日(土) 11:30～12:00

於：東北学院大学五橋キャンパス講義棟 6 階 L611 教室

発表全体を聴講した建築デザイン教育部会の部会員 4 名（下記参照）で、建築デザイン発表賞にふさわしい講演を選出することとした。

内規に従い、計 7 件の講演より 1 つの講演を選出することを確認し、部会員相互で協議した。様々なタイプのプロジェクトがある中で、どのように賞を選出するか、議論が難しかったが、最終的にはそれぞれのプロジェクトを多角的な視点から評価し、議論を通して決定することとした。

その際、内規に記載の通り、建築デザイン発表会を欠席する部会員には事前に講演梗概を開示し、賞にふさわしい候補を挙げてもらうこととしていた。欠席の複数の部会員から E-03、E-04、E-05 を推薦したいとの意見が寄せられていたため、その点を考慮した上で、選考委員会に出席した部会員の協議で決定した。

結果、次節に示す講演に第 11 回建築デザイン発表賞を授与することとした。

選考委員長： 櫻井 一弥（建築デザイン教育部会長、東北学院大学）

選考委員： 小地沢将之（建築デザイン教育部会幹事、宮城大学）

須田 真史（秋田県立大学）

馬渡 龍（八戸工業高等専門学校）

3. 選考結果

第 11 回日本建築学会東北支部建築デザイン発表賞 1 点

E-05「貯蔵景 -貯蔵と制作から捉える島嶼的集落像-」

山崎 侃之介、友渕 貴之（敬称略）

（宮城大学）

4. 講評

「貯蔵景 -貯蔵と制作から捉える島嶼的集落像-」

本講演は、宮城県塩竈市浦戸諸島石浜地区を対象に、島内に存在する様々なモノを徹底的にリサーチし、それらの利用と転用の可能性を探りながら建築的な空間を構成することを提案したものである。利用されるモノは、木や竹、鉄パイプなどの資材から、漁網や干し杵、フロートといった地域ならではの産業に結びついたモノまで、その中には一見するとゴミにしか見えないようなモノもあるが、それらを使いつつも循環的に転用させるため「貯蔵」に焦点を当てたユニークな提案となっている。建築物としては、ゲストハウス、工房、ダイニング、待合所を計画しており、いずれも要素を再構築して魅力的な空間を提案している。

選考委員会では、本作品の運営の方法やシステム、またメンテナンスのあり方などについてやや疑問が呈されたが、リサーチの緻密さと提案の丁寧さが高く評価され、今回の賞に選出された。

以上